



はちのす

木戸小学校学校だより
 令和5年10月6日
 No.276
 在籍児童数395名

学力調査の結果のお知らせ

日ごろより、当校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年度を実施した2つの学力調査について、結果を報告します。

◇全国学力・学習状況調査（6年生対象）

調査は大きく分けて、学習状況を見る調査と、生活習慣や学習環境などを見るアンケート調査があります。

○教科に関する調査

【出題範囲】原則として調査する学年の全学年までに含まれる指導事項

【出題内容】下記(1)と(2)を一体的に問う。

- (1)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- (2)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査。

結果分析から見える成果と課題、今後の対策について以下に示します。

	木戸小	新潟県	全国	全国比
国語	61	67	67.2	-6.2
算数	59	62	62.5	-3.5

【本校児童の調査結果から】

国 語	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく表記する。 ・文章の種類とその特徴について正しく理解している。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。 ・聞きたいことの内容を捉え、自分の考えをもつこと。 ・話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを短文で表現する機会をつくる。 ・資料から読み取り、何を述べているのか表現する練習をする。また、複数の資料から総合的に言える事を探したり、対比して説明したりする ・物語の読む力を育てるために、学年の指導事項の系統を踏まえて縦の指導を意識し表現させる。 ・必要条件を満たした要約ができるように、 <ul style="list-style-type: none"> ①質問で何を聞かれているか問題文把握をする。 ②複数の場合は線を書き分けて引く。 ③短文にまとめる練習をする。 <p>以上の3段階を意識した要約練習をする。</p>
--------	--	--

算 数	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること。 ・台形や正方形、正三角形の意味や性質について理解している。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例の関係をを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。 ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「倍の計算」の指導では、1→3は3倍といった「1」からの何倍だけではなく、2→6、3→9というように、「1以外の数」から何倍であるかということも、授業内で随時扱う。 ・「倍」の考え方ができていても、正答になる条件を筋道立てて、論理的に説明する。 ・図形の学習では、理論学習だけではなく、実際に作ったり動かしたり、かいたりするなどの操作活動を取り入れる。タブレットの活用もする。 ・答えが分かっている場合でも、正答になる条件を筋道立てて、論理的に説明する。
--------	--	--

児童質問紙調査から	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の違う意見について考えるのを楽しんでいる。 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思っている。 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞を読んでいる児童が少ない。 読書を好きと感じている児童が少ない。 学校以外で読書をしている児童の割合が少ない。(1日10分未満が全体の45%) 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した授業を毎日取り入れることによって、意見を交換したり、自分の考えを深めたりしやすい環境となっている。今後も様々な教科で ICT を活用し、様々な意見に触れることができるようにしていく。 家庭で活字に触れる時間が少ない。家に本が少ないと答える児童も多いため、図書室の本を家で読む活動(うち読書)を推進し、家庭でも積極的に読書に取り組めるようにする。 読書週間、朝読書など本に親しむ活動をしているため、今後も継続していく。
-----------	---	--

◇NRT標準学力調査(2~6年)

4月に、2年生以上でNRTも実施しました。国語・算数とも平均以下の学年が昨年度より増えました。理科・社会を実施した学年においては、学年差のある結果となりました。個々の結果は、5月の個別懇談会で学級担任より渡してあります。

※偏差値は、小数第二位を四捨五入。全国の偏差値平均を「50」としています。

学年	国語	算数	社会	理科
2	51.7	50.7	/	
3	48.7	47.4		
4	49.2	48.8		
5	52.0	50.9	50.8	52.1
6	48.5	49.1	46.9	48.7

	課題	今後の取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 物語文や説明文の読み取りができていない。 話題に沿った情報を選び、話したり書いたりすることが苦手。 指示語の理解が十分ではない。 語彙力の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を最後まで読む習慣をつけさせる。 文の構成を読み取り要約したり、文字数を意識して書いたりする。 辞書を活用したり、読書を行ったりして語彙力を高める。 言葉調べを授業の中で随時取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 単位換算が苦手。 問題場面、式、図を関係づけて考えたり説明したりすることができない。 図形の定義を正しく捉えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ・重さ・面積等の量的な実感を育てるため、実際に測定したり、図に書いたりする。 解決方法を図表と関係づけて説明する。 答え方を1つだけでなく、違う単位にして表現する練習をする。 実際に図形を描いたり展開図をかいたりする練習をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> グラフの読み取りができない。 複数の資料の読み取りが苦手。 条件のある記述ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語や算数などでグラフを書く練習をする。 随時授業で資料を読み取る練習をする。 様々な資料に触れる機会を増やす。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 知識が定着・整理されていない。 条件を変えている実験の比較ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 条件をそろえる意味を考え、表現するようにする。 図表を読み取ったり、書いたりして現象を読み取れるようにする。 考察の書き方を徹底する。

これらの結果を受けて、今後の学習の方向性について職員研修を行いました。子どもたちの傾向を分析し、明らかになった課題については、定着が図られるように対応しています。また、全学年に共通した傾向から、上記のような取組を進めていきます。今後も木戸っ子に学ぶ意欲と課題を解決できる力を育てられるように、努めていきます。